

McAfee Application Control

不正なアプリケーションのリスクを低減し、エンドポイントの制御を強化

ユーザーが何気なく使用するソフトウェアによって、マルウェアがインストールされ、サポートの問題とソフトウェアライセンス違反が発生し、システムやビジネス全体のセキュリティが低下してしまふことがあります。McAfee® Application Controlは、不正なアプリケーションを効率的にブロックする手法を提供します。単純なホワイトリストとは違い、信頼できるモデルを使用して、労力のかかるリストの更新作業を不要にします。インターネットから企業に膨大な数の未知のソフトウェアが流入している今、一元管理できるこのソリューションは、企業のシステムセキュリティ戦略にタイムリーな制御機能を追加し、運用のニーズを満たします。

主な利点

- エンドポイントのアプリケーションの可視性と管理性を向上
- 専用システム (POS端末、ATMデバイス、製造ライン制御機器など) によるビジネスの有効性を拡張
- 稼働しているMicrosoft Windows NTおよびMicrosoft Windows 2000システムの有効活用
- ダイナミックなホワイトリストによって手作業を排除し、所有コストを削減
- お客様のMcAfee ePOに対するセキュリティ投資を活用
- エンドポイント上で透過的に動作するオーバーヘッドが低いソフトウェアソリューション

主な特長

- 承認されたプロセスを通じて追加された新しいソフトウェアは自動的に許可
- すべての不正なソフトウェア、スクリプト、ダイナミックリンクライブラリ (DLLs) の実行を防止するとともに、メモリー・インジェクションをも防御
- ネットワーク接続の有無を問わず、サーバーとエンドポイント全体に既存の変更プロセスを容易に適用可能
- 物理的、またはリモートからマシンにアクセスできる管理者による保護の変更を禁止
- 一元管理により、IT運用に関連するオーバーヘッドをさらに軽減

今日のIT部門は、人的リソース不足という課題の中で、さらにエンドポイントとサーバーのセキュリティポリシー、運用手順、法規制へのコンプライアンスを求める大きな圧力に直面しています。しかし、エンドユーザーが何気なく使用するソフトウェアがビジネスにリスクをもたらしてしまうことがあります。規模を問わずすべての企業がエンドポイントとサーバーを標準化し、エンドユーザーの生産性に影響を与えずに承認済みのソフトウェアだけを許可する効率的な手段を必要としています。

コントロールされた環境でビジネスを効率化

McAfee Application Controlは、ブラックリスト、リアルタイムのレピュテーション認識、ビヘイビアを使用するアプローチを補完する製品です。McAfee Application Controlによって、IT部門は既知の適切なアプリケーションの許可や悪質なアプリケーションをブロックし、新しい未知のアプリケーションには適切に対処できるようになります。

また、マカフィーのダイナミックなホワイトリスティングの信頼モデルによって、他のホワイトリストテクノロジーに対する手作業のサポートが不要になり、コストを削減することができます。

望ましくないアプリケーションから完全に保護

悪質なコードは、Web 2.0で使用されている柔軟なソフトウェアやモジュール型コードを最大限に活用します。McAfee Application Controlは、Java、ActiveXコントロール、スクリプト、バッチファイル、専用コードへ対応範囲を拡張し、アプリケーションコンポーネントの制御性を強化します。

拡張性の高い一元管理機能

McAfee Application Controlは、お客様の既設のMcAfee ePolicy Orchestrator® (ePO™) プラットフォームへのこれまでのセキュリティ投資を活用します。ePOはリモートにも導入できることから、大企業でもセンター拠点から容易な管理とレポート作成を行うことができます。

手頃な価格で柔軟性と管理機能が高いセキュリティを提供

ホワイトリストが動的に管理されるので、POS端末、バックオフィスサーバー、さまざまなユーザープロファイルをサポートする多数のデスクトップイメージなど、多様なビジネスニーズに対応する多数の構成を容易にサポートできます。さらに、エンドポイント上で透過的に動作し、起動時と動作時の運用コストも最小限に抑えます。

専用システムの管理性を向上

銀行、小売業、製造業をはじめ重要インフラなど規制対象の産業では、POS端末、顧客サービス端末といった専用デバイスや、今でもなお旧型のMicrosoft Windows NTおよび2000システム上で重要な機能を実行し、機密データを保管しています。

McAfee Application Controlは、専用のCPUやメモリーリソースを持つシステムへの保護レイヤーの拡張に最適な製品です。オーバーヘッドが低くフットプリントが小さいため、システムのパフォーマンスに影響を与えません。起動時と動作時のオーバーヘッドは最小限に抑えることができ、ネットワークへアクセスすることなくエンドポイント上でも同様の効果を発揮します。

システム要件

注意：以下は一般的なシステム要件で、環境の性質によって異なります。

オペレーティングシステム:

- Microsoft Windows NT*
- Microsoft Windows 2000/2003/2008
- Microsoft Windows XP/Vista
- Microsoft Windows XPE
- Microsoft Windows XP/Vista (64ビット)
- Microsoft Windows 2003/2008 (64ビット)
- Microsoft Windows CE 6.0*
- Linux RHEL 3/4/5
- CentOS 4/5
- SuSE EL 9/10
- Oracle EL 5
- Solaris 8/9/10

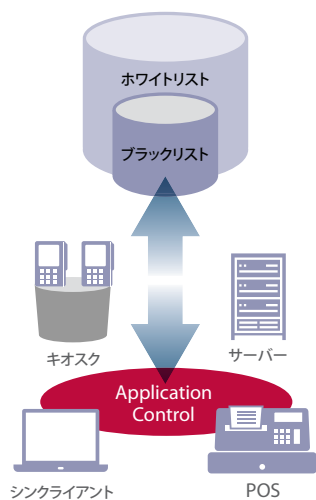
*これらのプラットフォームは、McAfee ePolicy Orchestratorにサポートされていないか、スタンドアロンモードで動作します。

信頼モデルを利用してダイナミックなホワイトリスティングを生成

McAfee Application Controlは動的な信頼モデルを活用するため、IT管理者は、承認済みアプリケーションのリストを手作業で管理する必要がなくなります。承認済みのソフトウェアだけが実行を許可され、承認済みソフトウェアを改ざんすることはできません。



セキュアなアップデートフロー

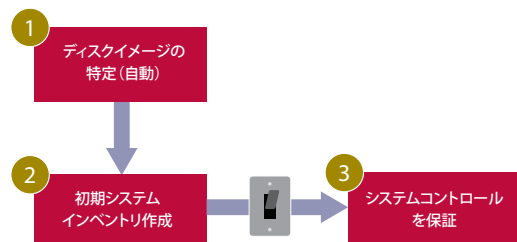


McAfee Application Controlは、キオスクやPOS端末などの専用デバイス、レガシープラットフォームに保護レイヤーを拡張し、お客様のリスクを大幅に低減します。

小さいオーバーヘッドとフットプリント

McAfee Application Controlは、オーバーヘッドを最小限に抑えることができるソフトウェアソリューションです。

- 容易なセットアップが可能で、起動時と動作時のオーバーヘッドも最小限に抑えます。
- CPUサイクルへの影響を最小限に抑え、10MB程度のRAMしか消費しません。
- システムのパフォーマンスに影響を与えるファイルシステムのスキャンは実行しません。
- ネットワークから切断された「オフライン」モードでの動作を想定して設計されています。



動的なホワイトリストの動作

1. システム上で実行されているすべてのソフトウェアを自動的に完全に検出
2. 非常に軽量の実行時システムによる事前計算
3. システム保守中に、完全に自動的にコード許可をコントロール

McAfee ePolicy Orchestrator(ePO)がすべてのマカフィー製品を統合管理

単一の統合管理プラットフォームであるePOの利用により、複数のコンソールを使用してエンドポイントのセキュリティを管理する場合より、IT部門の管理コストを大幅に削減できます。

- 単一のWebベースの管理プラットフォームを通じて、一元化されたイベント監視、レポート、ダッシュボード、ワークフローへアクセスが可能
- 1つの管理システムからエージェントとポリシーの導入、管理、更新を実施

マカフィーソリューションとの統合と互換性

McAfee Application Controlは、McAfee Change Controlとシームレスに統合し、ポリシー施行の強化とシステムITコントロールに対するコンプライアンスを達成します。Change Controlは、変更防止機能とリアルタイムの整合性モニタリング機能を提供し、企業システム基準とのずれを最小限に抑えることにより、コンプライアンスの達成を成功に導きます。

McAfee Total Protection for Endpointのお客様も、エンドポイントとサーバーの管理性向上のメリットを享受できます。Application Controlは、McAfee Host Intrusion Preventionのビヘイビアおよびシグネチャベースの保護機能を補完し、企業環境から未承認のソフトウェアを排除します。

McAfee Application Controlは、さまざまなネットワークポロジおよびファイアウォール構成で動作するように設計されています。

McAfee マカフィー株式会社
www.mcafee.com/jp

●製品、サービスに関するお問い合わせは下記へ

- 東京本社 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティウエスト20F
TEL: 03-5428-1100(代) FAX: 03-5428-1480
- 西日本支店 〒530-0003 大阪府大阪市北区堂島2-2-2 近鉄堂島ビル18F
TEL: 06-6344-1511(代) FAX: 06-6344-1517
- 名古屋営業所 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内3-20-17 中外東京海上ビルディング3F
TEL: 052-954-9551(代) FAX: 052-954-9552
- 福岡営業所 〒810-0801 福岡県福岡市博多区中洲5-3-8 アクア博多5F
TEL: 092-287-9674(代) FAX: 092-287-9675

McAfeeの英文/和文社名、各商品名、ロゴはMcAfee, Inc.またはその関連会社の商標または登録商標です。本書中のその他の登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。
©2010 McAfee, Inc. All Rights Reserved. ●製品、サービス、サポート内容の詳細は、最寄りの代理店または弊社事業部までお問合せください。●製品の仕様、機能は予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。